



栃木県立鹿沼東高等学校

全
日
制



所在地 〒322-0002 鹿沼市千渡2050番地
電 話 0289-62-7051
FAX 0289-65-7471
URL <http://www.tochigi-edu.ed.jp/kanumahigashi/nc2/>
創 立 昭和58年
課 程 全日制課程
設置学科 普通科
生徒数 594名(男子297名 女子297名)(令和3年4月1日現在)
利用交通機関 東武新鹿沼駅 または JR鹿沼駅 より
関東バス：「荒針経由宇都宮行き」
鹿沼東高校前下車徒歩3分
自 転 車：JR鹿沼駅から約2km(約8分)

I 学校の概要

昭和58年「普通科高校における情報教育の推進」を使命とする学校として開校し、今年で創立39年目となる活気あふれる学校です。近年は、目指す学校像「文武両道を貫き、進学校として地域から信頼され、期待される学校」の実現をめざして、活力ある教育活動に取り組んでおります。

1 校訓

流汗悟道

2 目指す学校像

文武両道を貫き、進学校として地域から信頼され、期待される学校

3 育てる生徒像－教育目標－

知徳体の調和的伸長を図る

◆志を立て自ら学ぶ

目標に向かって自ら学び、学力を伸ばします。

◆他人を思いやる

互いに助け合える良い人間関係をつくります。

◆心身を鍛える

徳性の高い、豊かな人間性を育てます。

4 募集する生徒像

本校の教育目標を理解し、本校への進学を強く希望するとともに、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する生徒

(1) 学習や部活動など、何事に対しても積極的に継続して取り組む意欲を有する生徒

(2) 集団の中で、それぞれの状況に応じてリーダーシップを発揮する意志を有する生徒

II 学校、学科、コース、教育課程等の特色

1 学校の特色

(1) 文武両道(学習と部活動)

学習活動と部活動の両立を目指し、ものの見方、考え方を深めさせ、目標の実現に向けて自律的に粘り強く取り組む生徒を育てます。

(2) 潤いと活力のある学校生活(学校行事)

多様な学校行事や地域活動に積極的に参加させることを通して、集団や社会の中で自他の存在を尊重する、思いやりのある生徒を育てます。

(3) きめ細かい親身の指導(進路実現)

進路意識を高め、進路実現への取組を通して、社会参画意識を高めるとともに、将来の自立、自己実現に向けて学び続ける生徒を育てます。

2 施設・設備の特徴

○普通教室…平成23年度からPTAの尽力により普通教室18室に空調設備が設置され、夏季課外授業等に活用しています。

○中庭…創立10周年を記念して平成5年に完成しました。シンボル塔を中心に、タイル張りの通路と芝生や草花で美しい庭園です。上履きのまま入ることができ、昼休みや放課後には、生徒の憩いの場となっています。



中庭

○運動施設…東西二つの体育館と広大なグラウンドを有し、充実した設備・施設の中で授業や部活動が活発に行なわれています。



グラウンド

野球・サッカーの練習場がそれぞれほぼ1面ずつ取れ、さらに陸上競技・フィールドホッケーの練習スペースも十分にあります。



テニスコート（4面）

体育館

第1体育館は、1階にはバレーボールコート男女がそれぞれ1面ずつ取れ、2階は卓球場になっています。

第2体育館は、バスケットボールコート男女がそれぞれ1面ずつ取れます。



格技場（悟道館）



プール



弓道場

3 教育課程の特色

普通科の進学校として多数の生徒が大学等に進学しており、進路希望実現に向けた確かな学力が身につくよう努めています。2年次からは生徒の進路希望や適性に応じて、文系・理系の類型別クラス編成をしています。

また、英語・数学・漢字・情報など各種検定の取得も推奨しており、増加単位としても認めるなど様々な取り組みにより幅広い知識の習得を目指し、受験に十分対応できる学力が身につくよう指導にあたっています。

学習指導要領のもと、全ての科目をバランス良く学ぶことができる教育課程を編成しています。

本校で学んだ生徒が、これからの社会に適応できる新しい知識と技術、健全な精神と身体を兼ね備えた社会人として、それぞれの分野において活躍できるよう、全職員が一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

4 制服の特徴

冬服：男女共、紺色のブレザーにエンジ色のネクタイ
 （平成26年度より紺色のカーディガンが追加されました）
 夏服：平成26年度より、ボトムスはネイビーベースの
 チェック柄に変更となりました。



（冬服）



（夏服）

Ⅲ 進路状況

1 卒業後の進路状況（過去3年間）

	進 学					就 職	その他
	国公立 大 学	私 立 大 学	国公立 短 大	私 立 短 大	専修・各種・公共 職業能力開発施設		
平成30年度	20	127	0	7	36	2	7
令和元年度	14	125	1	14	26	2	8
令和2年度	16	125	1	8	26	5	14

2 近年の主な進学先及び就職先

◇国公立大学

宇都宮大 北見工業大 北海道教育大函館校 北海道教育大旭川校 北海道教育大釧路校 宮城教育大
 山形大 秋田大 福島大 茨城大 群馬大 東京海洋大 信州大 静岡大 釧路公立大 岩手県立大
 宮城大 秋田県立大 秋田公立美術大 福島県立医科大 会津大 前橋工科大群馬県立女子大
 群馬県民健康科学大 長野大 高崎経済大 埼玉県立大 東京都立大 長岡造形大 都留文大
 長野大 静岡文化芸術大 公立鳥取環境大 山陽小野田山口東京理科大

◇私立大学

国際医療福祉大 帝京大 自治医大 獨協医大 白鷗大 足利大 宇都宮共和大 高崎健康福祉大
 獨協大 文教大 神田外語大 千葉工大 青山学院大 桜美林大杏林大 学習院大 北里大 駒澤大
 芝浦工大 順天堂大 上智大 成蹊大 専修大 大正大 大東文化大 玉川大 中央大 東海大
 東京電機大 東京農業大 東洋大 日本大 日本体育大 法政大 武蔵大 明治大 立正大 神奈川大

◇短期大学

作新学院女子短大部 國學院栃木短大 佐野日本大学短期大 東京女子体育短大

◇専修学校

栃木県衛生福祉大学校 獨協医大附属看護専門学校 済生会宇都宮病院看護専門学校 NHO栃
 木医療センター附属看護学校 宇都宮ビジネス電子専門学校 大原専門学校宇都宮校

◇就職

栃木県職員（一般行政・小中学校事務） 栃木県警察官 鹿沼市職員 皇宮護衛官 石橋広域消防職員

Ⅳ 特別活動の状況

1 部活動一覧と活動状況

[運動部] 野球 サッカー 陸上競技 バレーボール バスケットボール 卓球 ダンス 硬式テニス
 弓道 剣道 フィールドホッケー
 [文化部] 科学 J R C 美術 吹奏楽 書道 放送 英語国際理解 茶華道

本校には11の運動部と8の文化部があり、本校生の約90%が加入し活発に活動しています。運動部
 においては、弓道部や陸上競技部等は関東大会や全国大会出場の常連校として活躍しており、特に弓道
 部は国民体育大会少年の部の栃木県チームとして優勝を含め何度も入賞しています。文化部においても、
 放送部が全国大会への連続出場を果たしています。生徒たちは熱心に活動し、活気ある部活動が展開さ
 れています。

2 特色ある活動

○多彩な学校行事

互いの人格を尊重し、信頼しあう気持ちを深めるとともに、情操豊かな人間性を養うため、「学校祭」「芸術鑑賞会」「合唱コンクール」「スポーツ大会」「球技大会」「修学旅行」「遠足」など多彩な学校行事を実施しています。

○生徒会活動

生徒会が主催する主な行事は、スポーツ大会（6月）、合唱コンクール（7月）、学校祭（東陵祭9月）、球技大会（3月）などがあり、本部役員を中心としてそれぞれの実行委員が企画・運営にあたっています。

○国際理解教育

外国への短期留学生の派遣、および交換留学生の受け入れ（近年ではイタリア、フランス、ベルギーから）を実施しています。そのほか、毎年外国人の方を迎えての交歓会を催すなど国際理解教育も活発です。

○読書の奨励

「朝の読書」の実施や「多読賞」の授与など、読書を奨励しています。



合唱コンクール（R1）



古賀志山遠足（R1）

V 特色選抜について

1 定員の割合

普通科30%程度

2 出願するための資格要件

中学校で身に付けるべき基礎的な学力と基本的な生活習慣を身に付けた生徒で、次の（1）から（3）のいずれかに該当する者

- （1）自分の将来について明確な目標をもち、本校入学後も積極的に学習に取り組む意志がある者
- （2）部活動・生徒会活動・ボランティア活動など校内外の活動に積極的に参加する意志がある者
- （3）英語に関する資格を有する者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度
作 文	時間50分 字数600字程度

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計する。（135点満点）
また、調査書の点数化されない部分については、資格要件に該当するもの（特に校内外の活動における実績や英語に関する資格等）を評価する。
- 3 面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の募集定員の50%以内にある者（ただし、定員に満たない場合は受検者の50%以内にある者）で、面接・作文の評価が良好である者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議で合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。